議題４　広報紙のオープンデータについて（長久手市提出）

資料4

	市名	（１）広報紙について
1	名古屋市	【考え方】 ・　オープンデータの対象 本市ウェブサイトを通して対外的に公表している電子的データのうち、「広報なごや」に掲載し、データ所管課が二次利用可能と判断したもの。 「広報なごや」に掲載の各記事を1単位に公開の可否を判断し、記事を構成するイラスト・写真・図表などの素材は二次利用除外データを除き、各記事に準ずる扱いとする。 ・　制限 表示－改変禁止（CC-BYND） 原作者（名古屋市、広報なごや平成〇年〇月号など）を表示し、かつ元の記事（テキスト・イラスト・写真・図表・レイアウト等）を改変しないことを主な条件に営利目的での利用（転載・コピー・共有）が行えるCCライセンスとする。 【注意点】 　フリー素材のイラストなどを広報紙に多用している場合、記事単位での公開可否判断だと、イラストなどを原因とした公開不可の記事が増えてしまう。これを避けるためには、広報紙作成段階からオープンデータ化を見越したイラスト使用などが必要。
2	豊橋市	今後検討
3	岡崎市	広報紙のＰＤＦは、ホームページに公開しているが、２次利用を認めるオープンデータ化については、他市の状況を踏まえ、テキストデータで公開している紙面データの文字、文章及び表のみとするか、写真、図についても対象とするかといった点も含め今後検討していきたい。
4	一宮市	今のところ予定なし
5	瀬戸市	ＰＤＦ形式で市ホームページで公開するとともに、民間事業者開発のスマートフォンアプリ「i広報誌」で提供している。
6	半田市	現在、検討中。
7	春日井市	現在取り組む予定はないが、今回の会議の意見を今後の参考としたい。
8	豊川市	特にございません。
9	津島市	現在、ホームページ（PDF）やi広報紙を利用して公開している。現在より2次利用できる形での公開は、考えていない。
10	碧南市	実施予定なし。
11	刈谷市	特に検討していない
12	豊田市	広報紙はＰＤＦ形式でホームページ上で公開している。オープンデータとしての公表はしておらず、その他ホームページ上の著作権の考え方と同様に、引用の際は市政発信課へ連絡をもらうこととしている。 広報内容の利用の可否は対象となる内容と使用方法により個別に判断することとなるが、著作権上で基本的な考え方は以下の通り。 ２次利用可・・・生活の情報等のテキスト情報、風景写真や市の施設 ２次利用不可・・・市民を撮影した写真や、他団体が著作権を所有・制限する写真等データ
13	安城市	現時点において、広報紙のオープンデータ化は考えていない
14	西尾市	現時点でのオープンデータ化は考えていません。
15	蒲郡市	i広報紙に掲載
16	犬山市	当市では、オープンデータに関する取組みについては、これから検討を始める段階です。 まずは、統計情報をはじめとした基本的な行政情報のオープンデータ化についての検討からと 考えており、広報紙のオープンデータ化については、次の段階と考えております。
17	常滑市	特に予定しておりません。
18	江南市	現在のところ、市独自で広報紙をオープンデータ化することについては予定していない。しかし、一般社団法人オープン・コーポレイツ・ジャパンが提供する「マイ広報紙」を利用しており、発行された広報紙の記事データのうち、表データやイラスト、グラフ等を除く記事について、データベース化して配信している。

	市名	（１）広報紙について
19	小牧市	平成28年3月より、広報機能の充実を図るため、利用基準を定めたうえで、オープンデータ化している。
20	稲沢市	稲沢市の広報誌はＤＴＰ（Adobe InDesign）で作成しています。オープンデータ化を想定しておらず、二次利用可能な形で公開するためにはデータの加工が必要ですので考えておりません。
21	新城市	今後の必要性及び情勢の動向に応じて検討しなければならない課題であると認識しているが、具体的な取り組みは未調整。
22	東海市	広報誌を含めオープンデータのあり方については、国が策定した地方公共団体オープンデータ推進ガイドラインや愛知電子自治体推進協議会の調査・研究を参考に検討する。
23	大府市	平成27年5月から株式会社ホープ（福岡市中央区）のｉ広報紙にて情報公開中。
24	知多市	現在PDF形式で市Webサイト上に公開していますが、その他の拡張子での公開については、未定です。
25	知立市	現状、広報紙のオープンデータ化は行なっておらず、予定もございません。
26	尾張旭市	・2次利用については、個別に申請をいただき、許可している（my広報紙） ・広報誌のオープンデータ化は、現在行っておらず、今後の方針を検討中
27	高浜市	―
28	岩倉市	現在独自でのオープンデータの提供は行っていない。様々なジャンルでのオープンデータ化を今後進めるなかで、広報紙についてもオープンデータを提供していく可能性は高いと考えている。
29	豊明市	広報紙におけるオープンデータ化に関する情報収集を行っているところであり、研究中である。
30	日進市	現段階では、広報紙全体のオープンデータ化は考えていません。 オープンデータはデータの利用者が提供されているデータを自由に改変することが原則的に認められています。広報紙には、各所属の連絡先、イベント情報といったオープンデータ化しても支障が無い情報がある反面、写真やイラスト、取材内容など、著作物として著作権の対象となる要素も持ち合わせているため、導入を見合わせています。
31	田原市	広報紙のオープンデータ化は行っていない。ニーズとコスト（人的・金銭面）を考慮した上で、実施の可否を検討していく考えである。
32	愛西市	現在、広報紙のオープンデータ化は、行っていません。 オープンデータ化する予定は、現在のところありませんが、今後オープンデータ化を検討する際には、広報紙の作成を業者が行っているため、二次利用の際の作画データ等の権利問題が懸念される。
33	清須市	オープンデータ化に関しては、現在、市として検討段階であるため、市の方針が決定次第、その方針に従って検討したい。
34	北名古屋市	北名古屋市では現在、広報紙のいわゆるオープンデータ化は行っていません。二次利用が可能な形でのオープンデータ化については、広報という媒体の特性と馴染みにくいものと考えていますので、検討はしていません。
35	弥富市	ホームページにおいて広報誌をＰＤＦで公開しており、個人的利用の範囲内であれば制限はしない。ホームページ上での公開であるので、ホームページの基本方針を示しつつ、著作権を保持しながら一定の範囲内で公開しているようにしている。
36	みよし市	オープンデータについて、現在のところ検討中であり、その中で広報紙のオープンデータ化についても調査をする予定です。
37	あま市	オープンデータの必要性は感じているが、現在は実施していません。
38	長久手市	本市では、今年度予定している広報紙リニューアルの際にオープンデータ化を検討しています。